



2026年度 視察セミナーを開催しました！

去る6月10日(水)～11日(木)の日程で、2026年度 書店研究会 視察セミナーを開催しました。書店研究会員6名にご参加いただき、長崎の書店や先進的な商業施設、観光地を視察し、地域ごとの特性を活かした集客の取組や、場づくりの工夫について学びました。以下、視察の様子について、詳しくご報告いたします。

※1日目は航空機の遅延により到着が遅れ、行程の変更や滞在時間の短縮となりましたが、各訪問先の皆さまには柔軟にご対応いただき、無事に視察を行うことができました。この場を借りて御礼申し上げますとともに、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

1. 書店

①紀伊國屋書店長崎店

(長崎県長崎市元船町10-1 ゆめタウン夢彩都4F 営業時間9:30～20:00)

特徴	・長崎最大規模のショッピングモール「ゆめタウン」内4Fに位置。 ・紀伊國屋書店独自の「キノベス」1位のコーナーや、アガサ・クリスティー特集など、平台での展開が工夫されている。 ・ポスターやデジタルサイネージなどが随所にあるつつも、回遊しやすい店内で見やすさ/購入しやすさを実感。
感想	・滞在時間が短かったので細部まで見られなかったが、安定の紀伊國屋書店だと思った。



平台での展開。話題の「GOAT」特集など足を止めさせる仕掛けになっている。

②メトロ書店 長崎本店

(長崎県長崎市尾上町1-1 アミュプラザ長崎本館3F

営業時間10:00～20:00)

特徴	・2023年10月オープンしたアミュプラザ長崎は、長崎スタジアムシティ含めた長崎市中心市街地の大規模再開発の一環。長崎駅直結。 ・アミュプラザ長崎内3Fに位置し、25万冊を在庫。長崎の本や戦争関連の書籍に力をいれている。文具やCDの販売コーナーもあり、イベントも充実。 ・在庫管理やAIカメラ等のシステムも自社で構築。導入コストを抑え、効率化を図っている。
感想	・改装やシステムについて直接話を伺えたのが良かったです。



長崎出身の著者の本などが並ぶ長崎コーナー



背の高い棚に著者あいうえお順の陳列が特徴的

③TSUTAYA BOOK STORE MIRAI NAGASAKI COCOWALK

(長崎県長崎市茂里町1-55みらい長崎ココウォーク 5F

営業時間10:00～21:00)

特徴	・みらい長崎ココウォーク内の5階に位置。同建物はアミュプラザ、ゆめタウンと並ぶ5大商業施設の1つ。長崎市内初となる「TSUTAYA BOOKSTORE」。 ・20万冊の品揃えで見応えがあり、店内中央にあるドトールをはじめ、周辺にも様々なショップが展開。店内各所にベンチもあり、BOOK & CAFÉとしてゆっくり過ごすことができる。 ・ココウォーク内4～5階天井まで壁面に大きな本棚が設置。エスカレーターから見ることができ、話題性と誘導性を生み出す。
感想	・上層階に集客できるようなお店づくりになっていた。





広々とした店内で、書籍・文具/雑貨ともに豊富な品揃え。装飾もオシャレな内装。

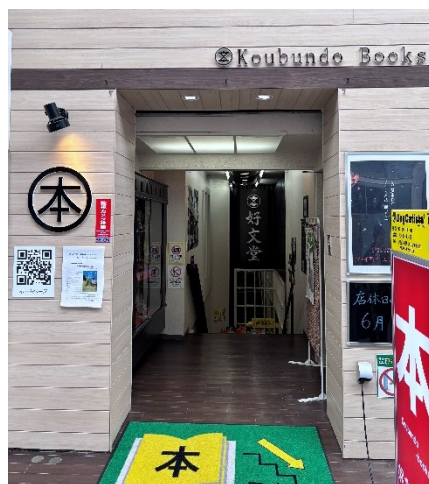


エスカレーターから見える壁一面の本棚天井までそびえる

④好文堂書店

(長崎県長崎市浜町8番29号 営業時間10:30～19:00)

特徴	・明治39年創業の老舗書店。長崎の郷土書や情報発信をしている。 ・アーケード街の地下にあり、そこまでの広さはないものの、レイアウトに工夫がされており、見応えのある店内。 ・手書き/手作りのPOPや看板が多く、本へのこだわりを感じるお店。
感想	・売場を縮小したようだが、小さいながらも力の入った商品展開で知らない人には教えたい店鋪。



手作りの大型看板
クオリティも高く目を引く仕掛けになっている



地下入口の階段にも商品や要素を配置し、
スペースを有効活用されている

2. 商業施設・観光地視察

①長崎スタジアムシティ（長崎県長崎市幸町7-1）

特徴	・ジャパネットが手掛けたスタジアム・アリーナ・オフィス・商業施設・ホテルなどの大型複合施設。 ・自前主義をモットーに、施設のスタッフやイベント開催もジャパネット社員で運営している。自社内でPDCAをまわすことができ、新たな利益創出に繋げている。 ・平日でも約12,000人が訪れる等、民間主導の地方創生プロジェクトとして注目されている。
感想	・企業理念と事業展開の関連性を詳しく聞くことができて勉強になった。 ・一つの企業がスポーツビジネスを中心に都市開発に挑戦している稀有な事例を直接体感することが出来て非常に勉強になりました。 ・試合のない日は大変そうだと感じました。



スタジアムが見えるコワーキングスペース
社会人だけでなく学生の利用も多いとのこと。

②軍艦島（端島）

特徴	・世界文化遺産に登録された近代産業遺産。かつて海底炭鉱として栄え、東京都の約9倍もの人口密度を誇った。 ・島全体を取り囲む岸壁と高層鉄筋コンクリートのアパート群が特徴で、良質な石炭を産出し、日本の近代化に大きく貢献。最盛期の1960年には約5,300人が暮らし、島内に小中学校や病院、映画館などを完備していた。
感想	・近代科学技術史の凄みを体感するよい機会だった。 ・長崎の文化と歴史に触れられる貴重な機会になりました。 ・長崎の歴史や情勢などを伺えた点が良かったです。





3. その他視察の様子



今後の活動予定

◆ 2026年度 書店研究会セミナー

2026年度の書店研究会セミナーについて、秋頃の開催を予定しております。詳細が決まりましたら改めてご連絡いたしますので是非ご予約いただき、奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

※ご意見・ご要望はこちらまでお願いします※

書店研究会 事務局（日販出版流通事業本部ストアソリューションチーム）

E-mail ryutsu-gakuin@nippan.co.jp 東京都千代田区神田駿河台4-3